

尿検査

尿検査は、じん臓病、糖尿病を早く見つけるために行う大切な検査です。

じん臓の病気、糖尿病はかなり悪くならないと自覚症状があらわれないことが多いので、気づかず、そのまま放っておくと病気が進んで治りにくい病気となってしまう。

自覚症状がまだないうちに発見し、適切な治療を受けるために、年1回の尿検査を受けましょう。

尿のとり方



尿のとり方

①前日の夜、寝る前にトイレに行っておきます。



②朝、起きたらすぐにトイレに行きます。



③はじめに少し尿を出します(※)。



※尿道にたまっている尿では、正しく検査できないため



④尿を紙コップにとりま

す。



⑤紙コップの中の尿を、ポリ容器(スポイト)で吸いあげます。



⑥容器のふたをしっかりとめて、袋に入れます。

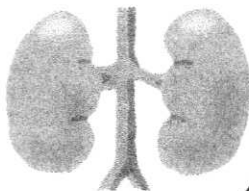
確認！！

- ・ラベルの番号、氏名は正しいですか？
- ・必ず、当日の朝の尿を提出しましょう。
- ・朝、学級で集めます。名簿に○を付けましょう

腎臓の働きとは？

- 血液中の老廃物をろ過して身体の外に出す役割！
- 水分量、血圧の調節
- 骨を丈夫にするホルモンの分泌

ソラマメのような形をしています→



尿検査でみつかる病気

- 糖尿病・・・インスリンというホルモンが不足してうまく働かなくなることで血液中の糖の濃度が高い状態が続く病気です。小児期のⅠ型と中年以降に多いⅡ型があり、Ⅰ型は自己免疫性疾患でⅡ型は生活習慣の乱れが原因です。
- ネフローゼ症候群・・・腎臓に障害が起こり尿中にタンパクが流れ出してしまう病気です。
- 腎炎・・・細菌の感染などによって腎臓に炎症が起こる病気です。血尿、頭痛、発熱、むくみなどの症状があります。

提出日 5月9日(火)・10日(水)

《忘れた場合》

○当日の尿を検査所で午前中に検査しないと正しい結果が出ません。家に忘れた場合や出し忘れた場合は、次の日にとり直してください。(容器は保健室に取りに来ること)

*女子生徒で期限内に都合が悪くて提出できない時は担任か保健室まで連絡ください。